

まちづくり懇談会議事録【公開用】

日 時：令和元年 10 月 26 日（土）14 時 00 分～15 時 29 分

場 所：滝下会館

出席者：7 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 今年度のまちの動き（資料①）

※質疑応答

4. これからのまちづくり（資料②）

5. 懇談

6. その他

(1) 出前型政策・施策説明会「栗山町のまちづくり」について（資料③）

※質疑応答

7. 閉会

《質疑応答》

【栗山赤十字病院について】

町長：

日赤病院へは通院されていますか？

町民：

私は札幌市で手術したため、通院は札幌市に通っている。往診も利用している日赤病院へはなかなか通院できない。

町長：

日赤病院は建物に問題があるため、建て替えをしないといけない。数十億円のお金がかかるため、町単独で行うのは厳しいが、近隣の町は病院をサイズダウンして診療所にして、札幌市などの病院と連携して維持しており、なかなか足並みが揃わない状況。他の懇談会場ではさまざまなご意見をいただいている。今の日赤病院の病床稼働率は 8 割、そのうち 8 割が町民となっている。もし建て替えとしたら、病床数の削減といった議論も必要だと思っている。町内に総合病院がなければならないとは思いますが、多額の費用が必要であり、町の財政範囲の中で維持していくことが必要。

町民：

岩見沢市の市立病院にバスで通院している。町営バスの利用者が少なければ岩見沢市への接続があるが、利用者が多いと、岩見沢行きのバスに間に合わないことがある。

町長：

町営バスの時間と岩見沢行きのバスの接続が悪いといった問題もある。バス時刻の調整をしたいと考えている。

町民：

長沼町の病院は送迎してくれている。

町長：

送迎しているのは町立病院ではなく、民間の病院。あのような営業活動をして患者を確保している。

町民：

日赤病院の受付と、皮膚科や耳鼻科などの外来までの移動距離が長くてとても不便に感じる。

福祉総括：

建物が古いため、受付からの距離が遠いという現状もあると思う。いただいたご意見は日赤病院側にも伝えていく。建て替えの検討は、方針が決まっても7、8年くらいかかる。平成22年から協議を続けているが結論は出しておらず、耐震の問題があるため、今年度中に方向性を決めたい。

【北海道介護福祉学校について】

町長：

介護福祉学校の問題について、30年前に諸先輩方が先見性をもって、介護人材を育成する目的で開校した。町でも5年後には介護福祉士が不足すると推測されており、将来的に必要な養成校なので、何とかして学校を存続していきたい。

町民：

介護福祉学校の就職率は100%だと聞いている。介護士を目指す生徒が少ないのは、給与が安く待遇が悪いのが要因ではないのか。

教育長：

介護福祉学校の生徒は本当に頑張っており、求人は5倍、10倍来ている状況。高校生そのものの数が減ってきている中で、介護職を目指す子もいることはいるが、周囲になかなか理解されない状況。介護福祉士が国家試験制度に変わったこともあり、断念している子もいる。就職状況も変わり、介護福祉士だけでなく企業全体の求人が非常に多いため、他職種に流れていっている状況もある。介護職の待遇や就業環境の改善が必要。将来お世話をしてもらう立場になってくことを考えると、きちんとした養成校を出た介護福祉士にお願いしたいと思う。しかし、町民の皆さんの税金が多額に投入されている状況もあるため、介護のノウハウを町民の皆さんに還元していく活動などを含めて、まずは4年間、しっかり頑張っていきたい。4年後にはもう1度見直しをかけ、場合によっては廃校という選択もあるかもしれないが、今はしっかり結果を残せるよう頑張っ

ていきたいと思っているため、ご理解をいただきたい。

【栗山駅周辺・商店街の活性化・町営バスに関して】

町長：

駅前商店街のお話もしたい。商店街で買い物をすることはありますか。

町民：

まったく行かない。駐車場も少ないし、駐車場から店舗まで歩かなければならないから不便。郊外に大きなお店があり、駐車場も広いため、どうしてもそちらに行ってしまう。

町民：

足腰が悪く買い物に行けないため、生協で届けてもらっている。本当は直接見て自分の好きなものを選んで買いたい、それができないため宅配サービスを使っている。

町長：

別な地区の懇談会の中で、高齢の方からお祭りなどの町の大きな行事のときに臨時バスを出してほしいというご意見もあった。

町民：

そういうバスがあったら利用してみたい。夏まつりなど、お祭りに参加したい。

11月2、3日にカルチャープラザでカラオケ大会などの行事があるが、土日だからバスがなくて行けない。

町民：

お祭りのバスは良いと思うが、行ったは良いが帰りのバスがない、といったことになっているのではないと思う。

町長：

町のイベントは土日によく行われる。せっかくの町のイベントで、町民みんなに楽しんでもらいたいため、どうにか検討していきたい。

町民：

車があるから自分たちは行くことができるが、高齢者は難しい。

【北海道介護福祉学校・栗山高等学校について】

町民：

学校について、栗山高校と介護福祉学校を同じ建物にしてみたらどうだろうか。

町長：

道立と町立の建物なので、一緒にするのは難しいと思うが、そういう発想の転換は必要だと思う。高校の校舎に空き教室もあり、一つの建物にできないことはない。今まで

は考えたこともなかった方法だと思うが、いただいたご意見のように、さまざまな可能性を追求していきたい。

町民：

個人的には、介護福祉学校は残してほしいが、栗山高校はなくてもいいのではないかなと思う。

町民：

栗山高校は建物がまだ新しいから、存続した方がいいのではないかな。

町長：

栗山中学校の生徒は90人程いるため、栗山高校に魅力があれば生徒は集まると思う。今は栗山高校の魅力づくりを頑張っている。

町民：

滝下地区は、栗山高校へ通うよりも追分高校のほうが近かった。